

事例紹介

電子カルテネットワークが開く 地域医療連携の新たな世界

わかしお医療ネットワークの挑戦

平成16年10月26日

千葉県立東金病院
平井 愛山

わかしお医療ネットワークの紹介



平成16年 NHK ETV Special 放映画像

Chiba prefectural Togane Hospital

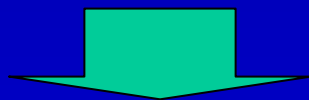
千葉県山武医療圏における課題をどのように解決して
いったらよいのか？

病院完結型の医療から

地域完結型の医療へ

あたらしい考え方

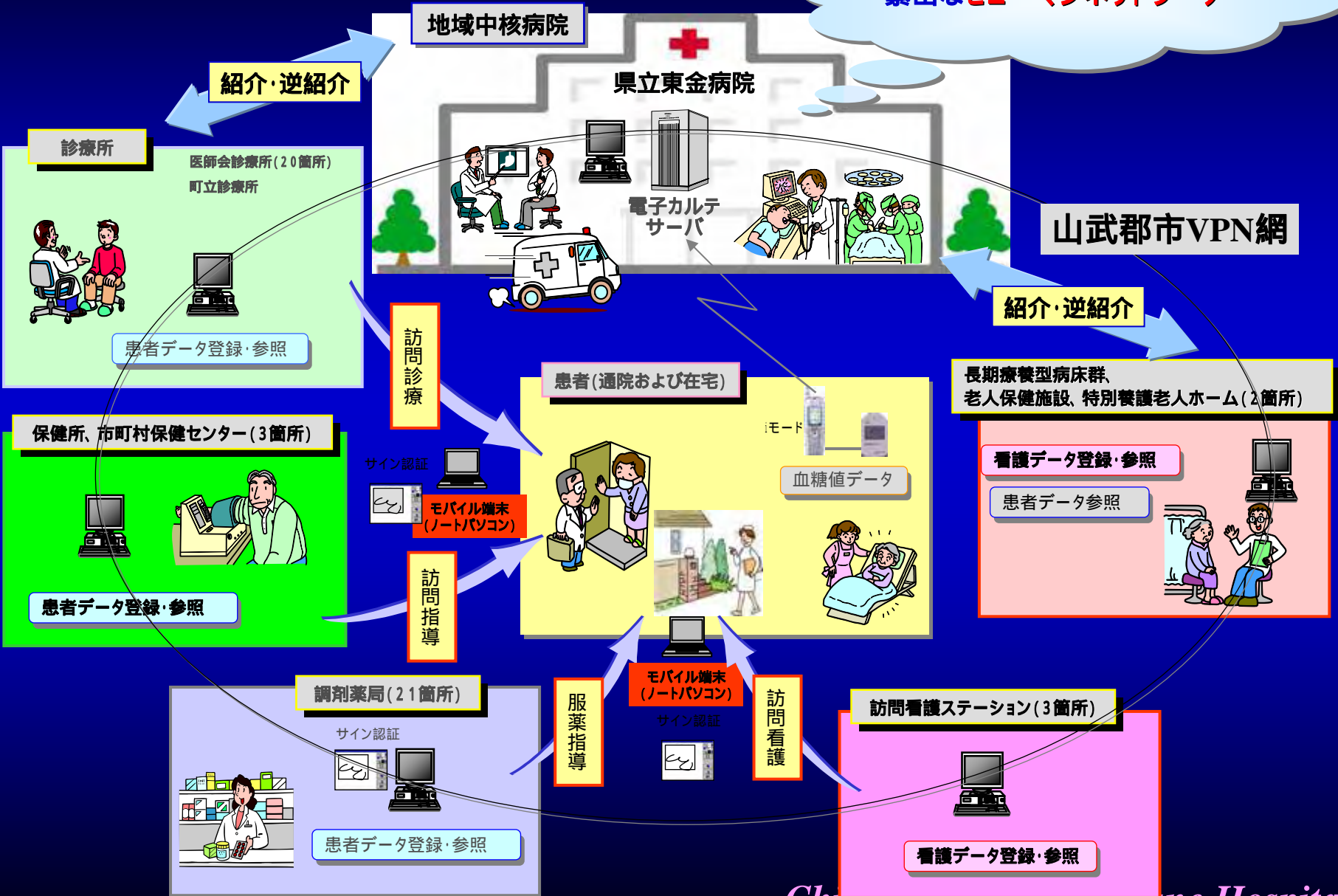
『地域全体が一つの病院である』



電子カルテネットワークで実現

わかしお医療ネットワーク Ver 2.0 (2003-)

定期的研修会に裏打ちされた
緊密なヒューマンネットワーク



電子カルテネットワークの成果(1)

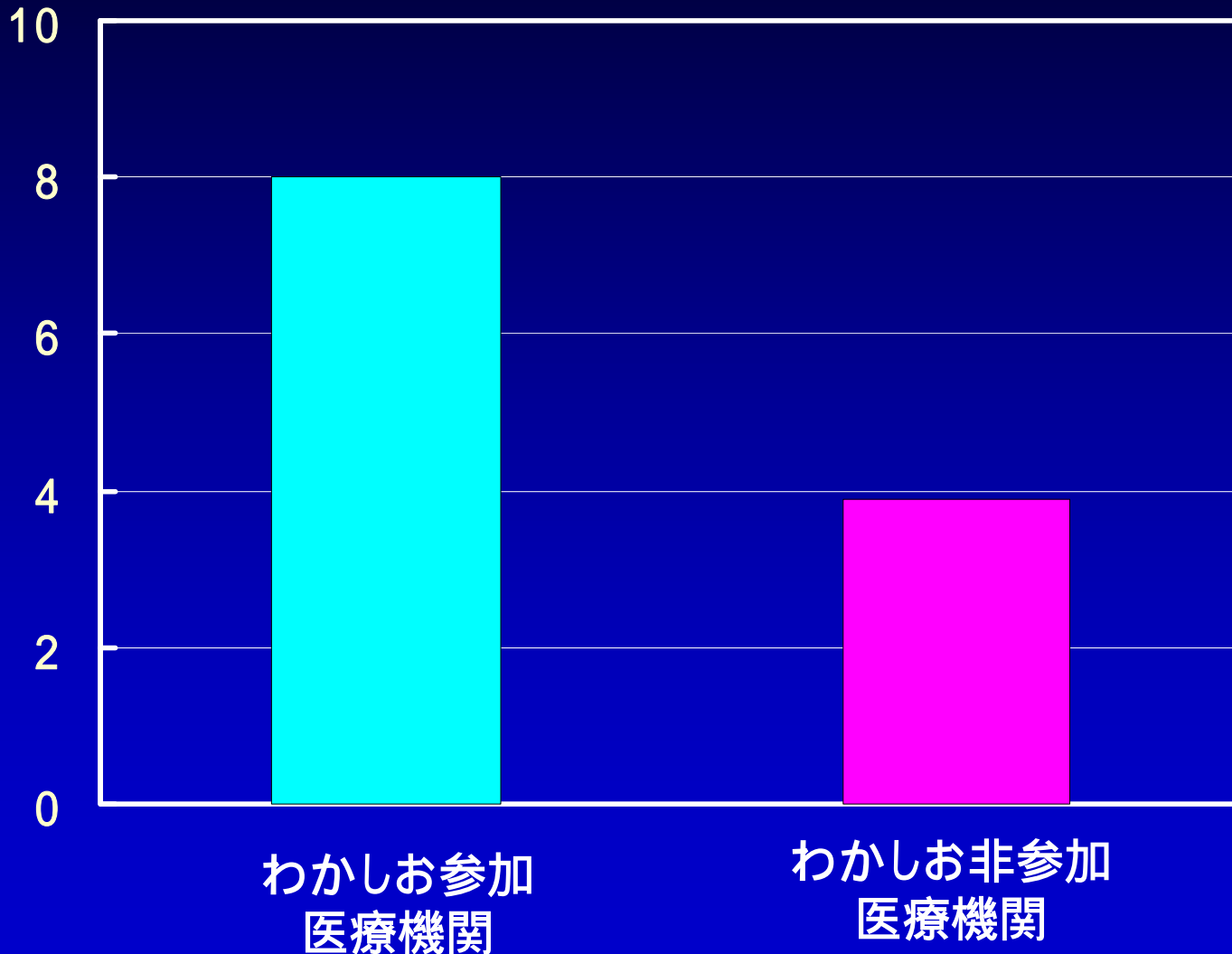
中核病院・診療所連携の充実・強化

電子カルテネットワークと地域医療連携の実際



平成14年 NTV 放映画像
Chiba prefectural Togane Hospital

紹介先別平均逆紹介件数(件 / 6ヶ月)



わかしお医療ネットワークの評価(1)



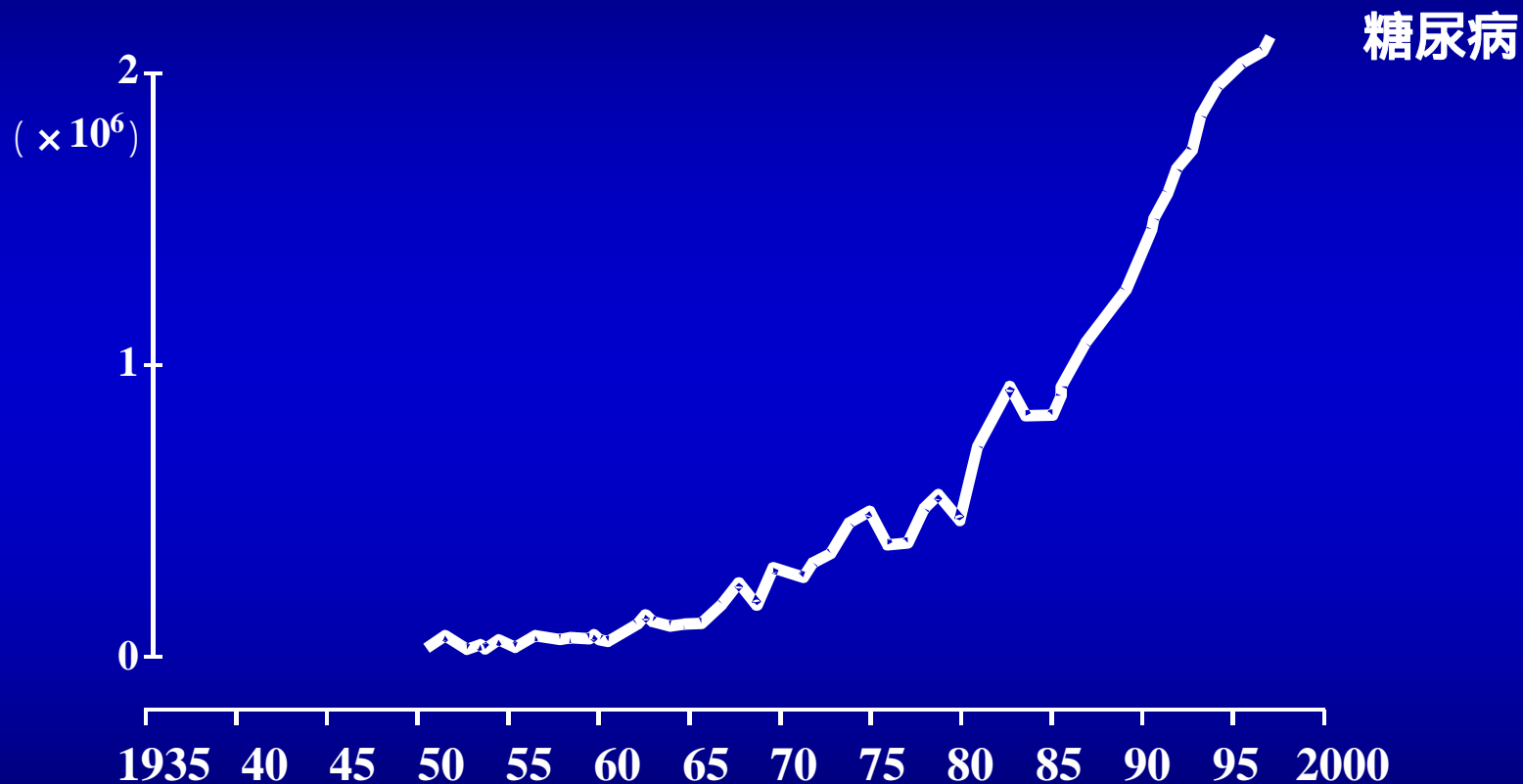
平成14年 NHK BS - 1 放映画像より

Chiba prefectural Togane Hospital

糖尿病診療連携における 電子カルテネットワークの成果(1)

診療所へのインスリン療法の啓蒙拡大

わが国における糖尿病患者の推移



糖尿病は21世紀の国民病である！！

糖尿病性壊疽による下肢の切断数

1998年～2002年(肢/年/20万人)

全国平均 1.2 肢

山武医療圏 6.8 肢

山武医療圏は全国平均の約5倍と、
きわめて多い。

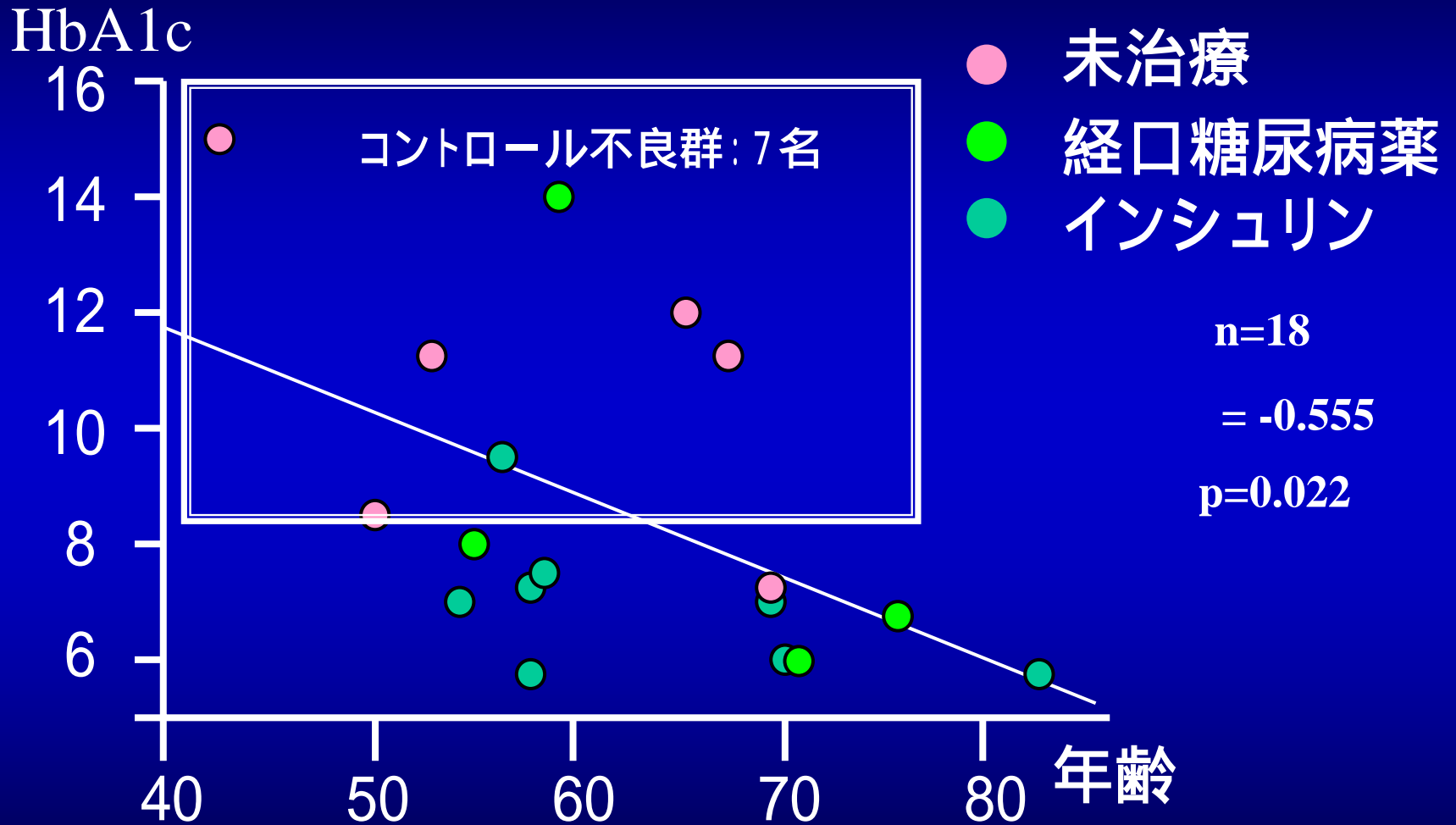
切断前(壊疽発症時)の 糖尿病治療歴

インシュリン治療 10例

経口糖尿病治療薬 5例

未治療(放置を含む) 7例

HbA1cと切断時年齢

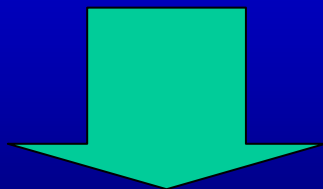


コントロール不良群: HbA1c > 8.5%

山武医療圏の糖尿病診療の現状

糖尿病患者数 11、600人

2002年厚生労働省調査(700万人/全国)
および住民検診の調査結果によるシュミレーション



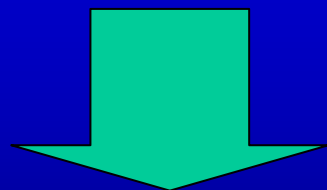
糖尿病専門医は、わずかに3名！

Chiba prefectural Togane Hospital

山武医療圏の糖尿病診療の問題

糖尿病患者数 11,600人

2002年厚生労働省調査(700万人/全国)
および住民検診の調査結果によるシミュレーション

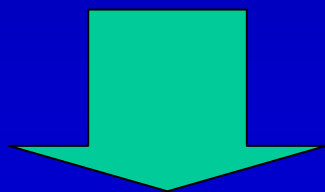


インスリン治療の必要な患者予想数

1200人

山武医療圏の糖尿病診療の問題

インスリン治療の必要な患者予想数



1200人

インスリン治療患者実績

東金病院 450名

成東病院 150名

600名が治療を受けていない！

糖尿病とその合併症を増やさないために

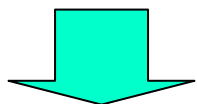
1. 糖尿病を21世紀の国民病として捉え、
地域全体で取り組む。
2. 地域包括糖尿病ケアシステムの構築
一次予防(発症防止) : 保健と医療の連携
二次予防(合併症防止) : 医療機関・薬局の連携
3. 糖尿病専門外来と地域の診療所における
糖尿病診療の平準化:
病院から診療所への糖尿病診療の技術移転
IT基盤の整備と人材育成

新たな視点

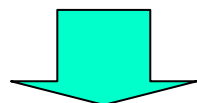
地域医療連携を強化して、
定期的糖尿病研修会と
電子カルテネットワークを活用して
診療所へのインスリン療法の啓発・普及
を図る。

糖尿病診療における医療の平準化(技術移転)とその効用

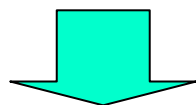
糖尿病診療のオンライン実践ガイドラインの導入と普及



診療所でもインスリン自己注射患者の管理が可能になる（糖尿病診療の技術移転）



重症糖尿病患者の合併症の発症・進展の防止



患者QOLの向上と医療経済の改善

わかしお医療ネットワークが採用した 糖尿病診療ガイドライン

臨床病期に応じた糖尿病治療マニュアル
STAGED DIABETES MANAGEMENT
(eSDM)

S T A G E D
D I A B E T E S
M A N A G E M E N T[®]

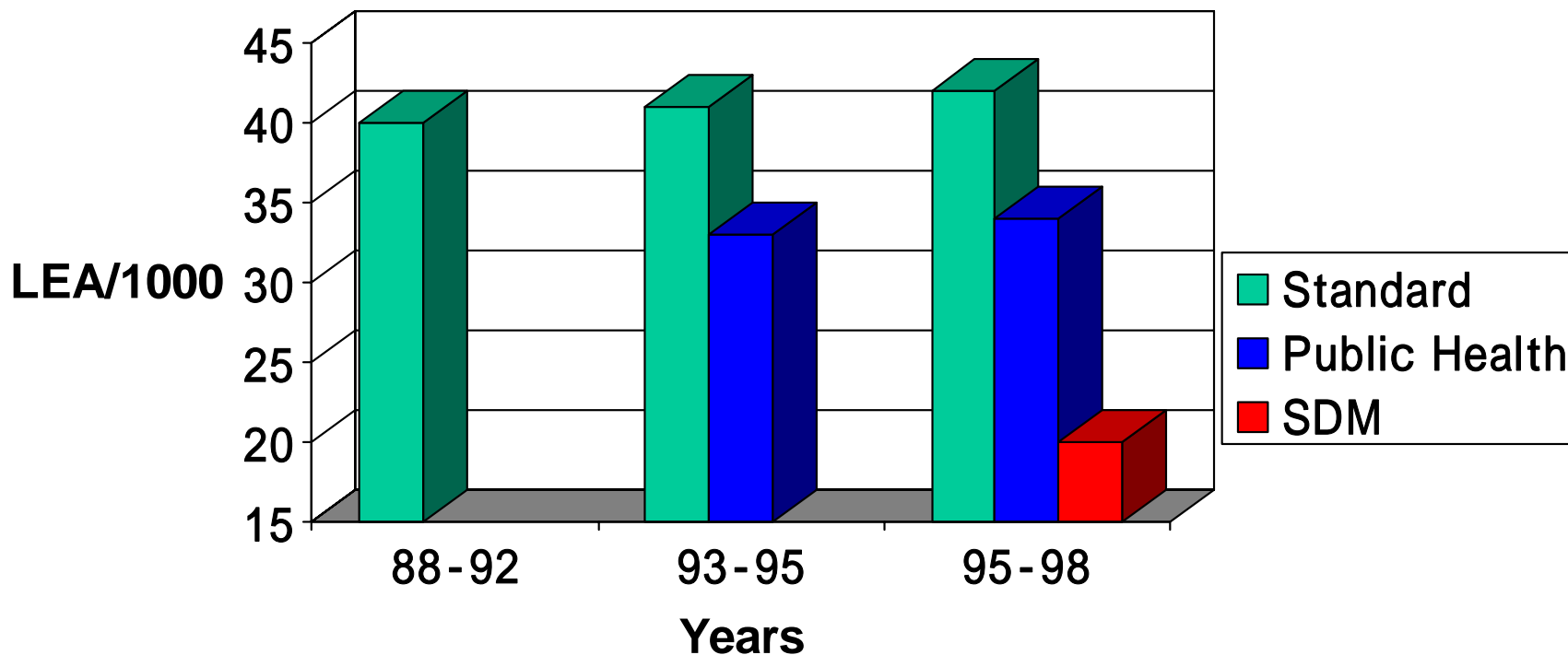


臨床病期に応じた糖尿病治療マニュアル(SDM)

Chiba prefectural Togane Hospital

SDM導入後、糖尿病足病変による下肢切断 は半減した。(vs. 従来法と 衛生教育法) (The Indian Health Service)

LEA/1000 patients/year



*Based on sample audits

技術移転の場としての 山武SDM研究会とその成果

わかしお医療ネットワークを支える 山武SDM研究会



eSDMの解説と使い方

症例提示

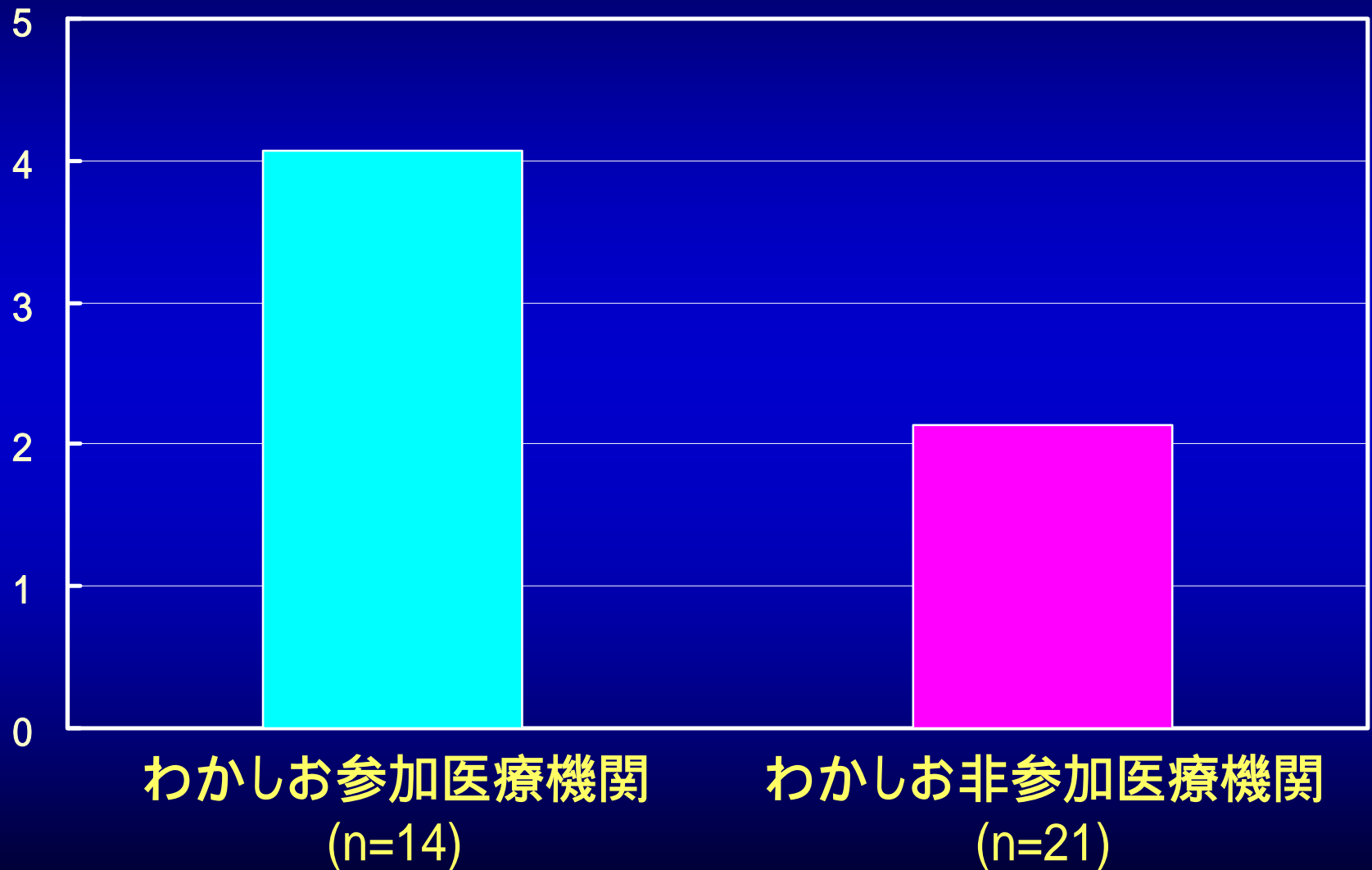
薬剤解説

Chiba prefectural Togane Hospital

山武SDM研究会のあゆみ

- 第一回 糖尿病診療の基本とSDM入門
- 第二回 SDMの使い方(1)内服薬の選択
- 第三回 SDMの使い方(2)インスリン製剤
- 第四回 高脂血症診療ガイドライン最新版
- 第五回 インスリン製剤とビッグアナイド剤の使い方
- 第六回 **超速効型インスリン製剤の紹介**
- 第七回 **超速効型インスリン製剤の使い方の実際**
- 第八回 シックデイについて

山武SDM研究会への参加回数の比較



山武SDM研究会参加者アンケート (わかしお医療ネットワーク参加施設)

- 治療の標準化が進み安心できる。
- 専門医の経験を共有して、治療できる。
- 電子カルテによる医療連携が機能すればするほど、診療所での糖尿病診療には、新しく、かつ正しい知識が必要である。山武SDM研究会は大変役立っている。
- 診療レベルの向上、目標値の標準化など地域の糖尿病診療に役立つ。
- 薬剤師の知識が向上、カルテの内容理解が容易になり、患者様に自己注射に関する理解をしていただける。

糖尿病治療に関する診療所医師アンケート回収結果

超速効型インスリン自己注射治療が十分機能する環境が整ったと思いますか。

そう思う

やや思う

普通

あまり
思わない

S D M研究会の参加を契機にして超速効型インスリン自己注射治療に参加したいと思いますか。

やや思う

普通

わかしお医療ネットワーク参加機関に限定

Chiba prefectural Togane Hospital

糖尿病診療連携の解析結果

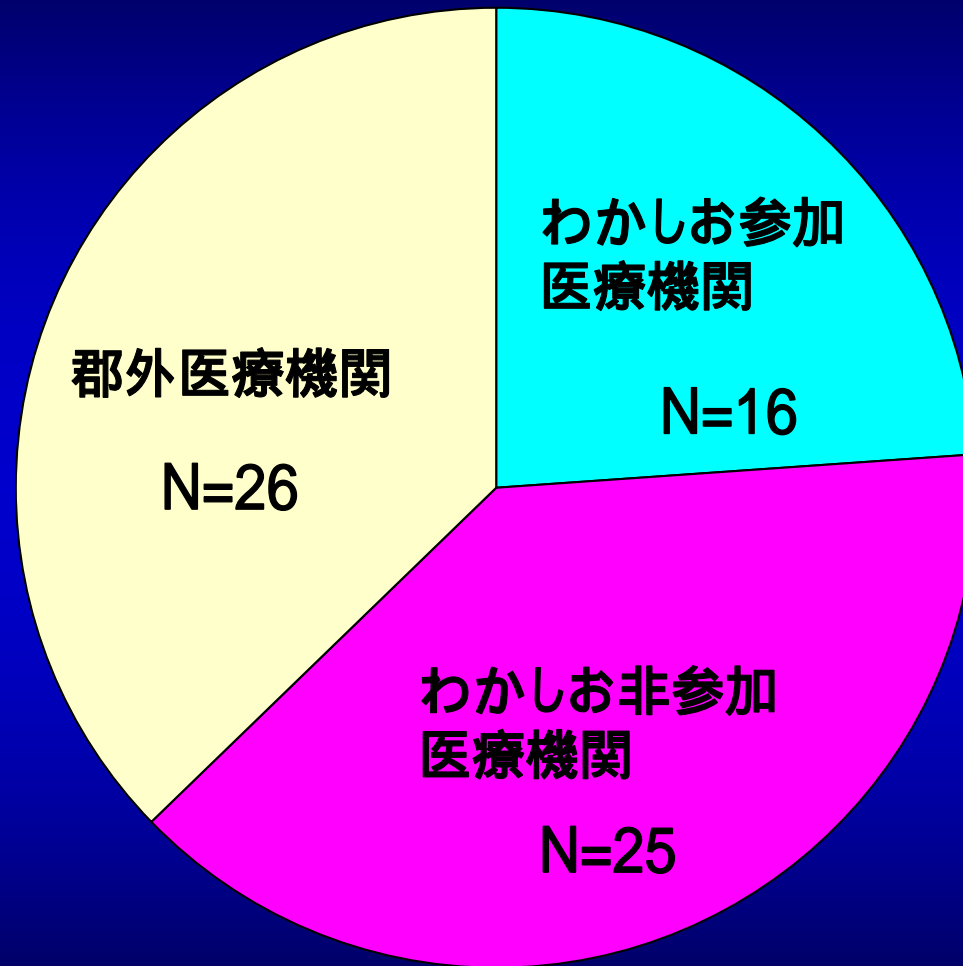
糖尿病診療連携と電子カルテネットワーク



平成14年 千葉テレビ放映画像

Chiba prefectural Togane Hospital

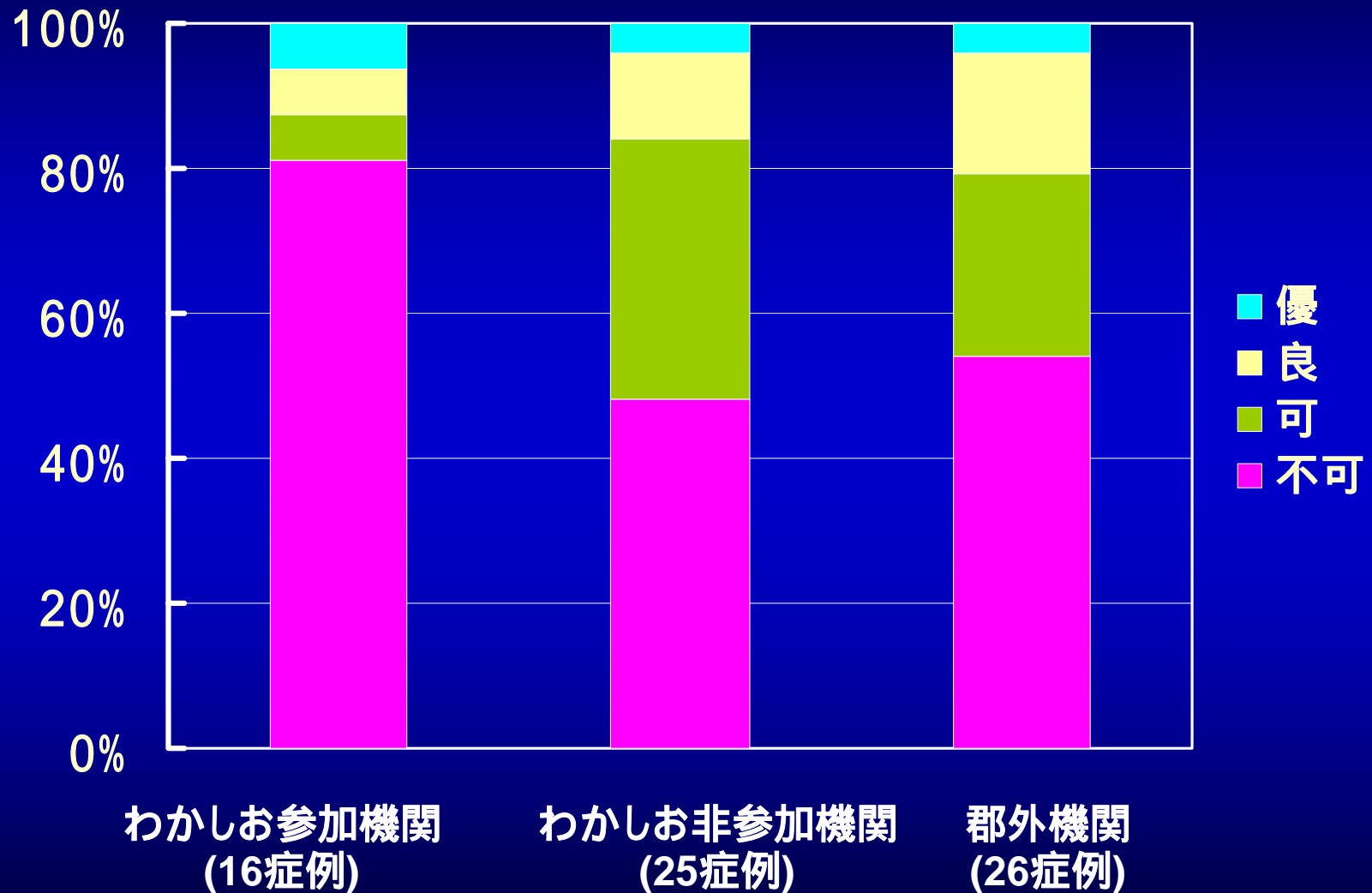
東金病院における糖尿病医療連携の実際：紹介



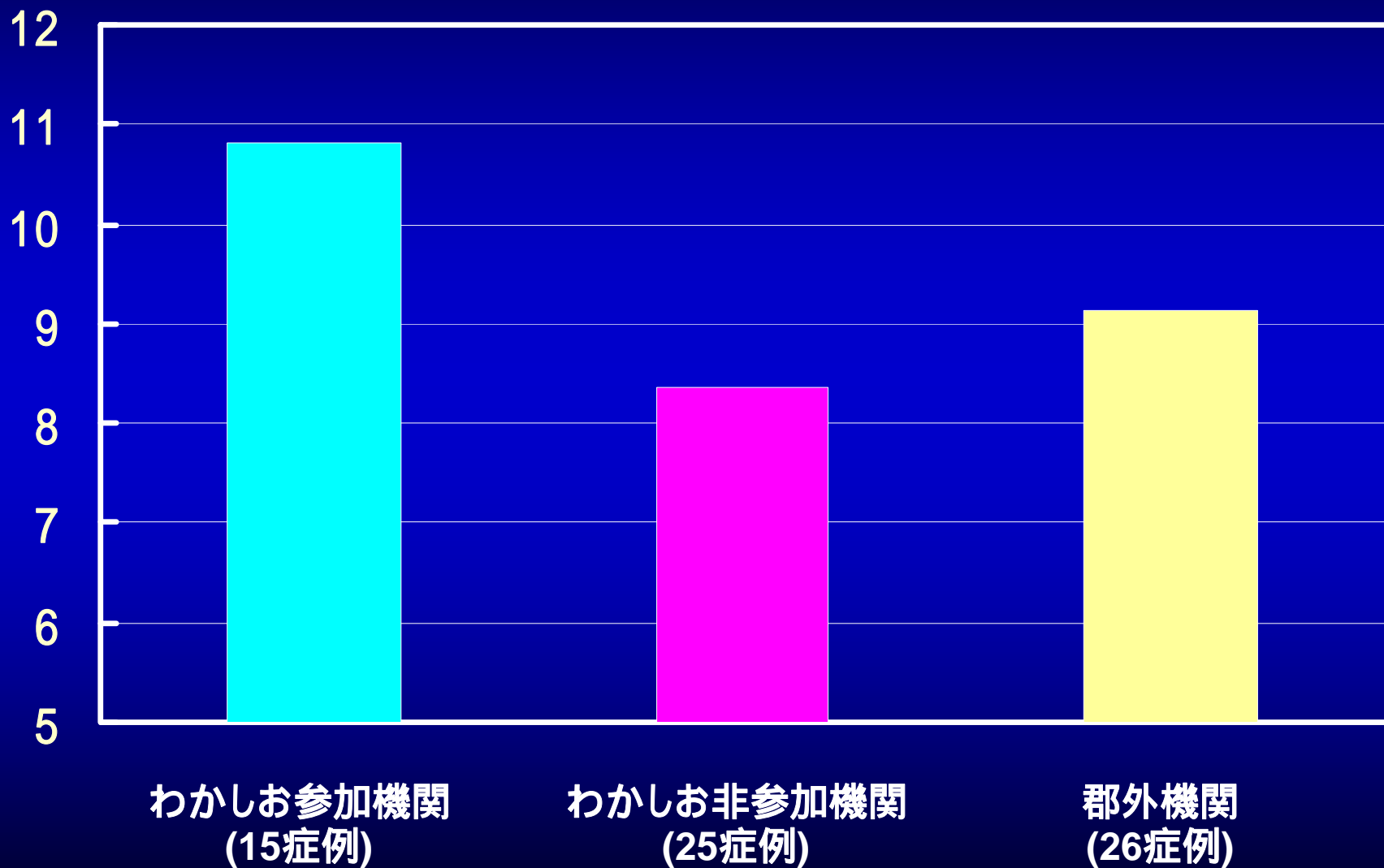
紹介症例数=67

平成15年1月～6月

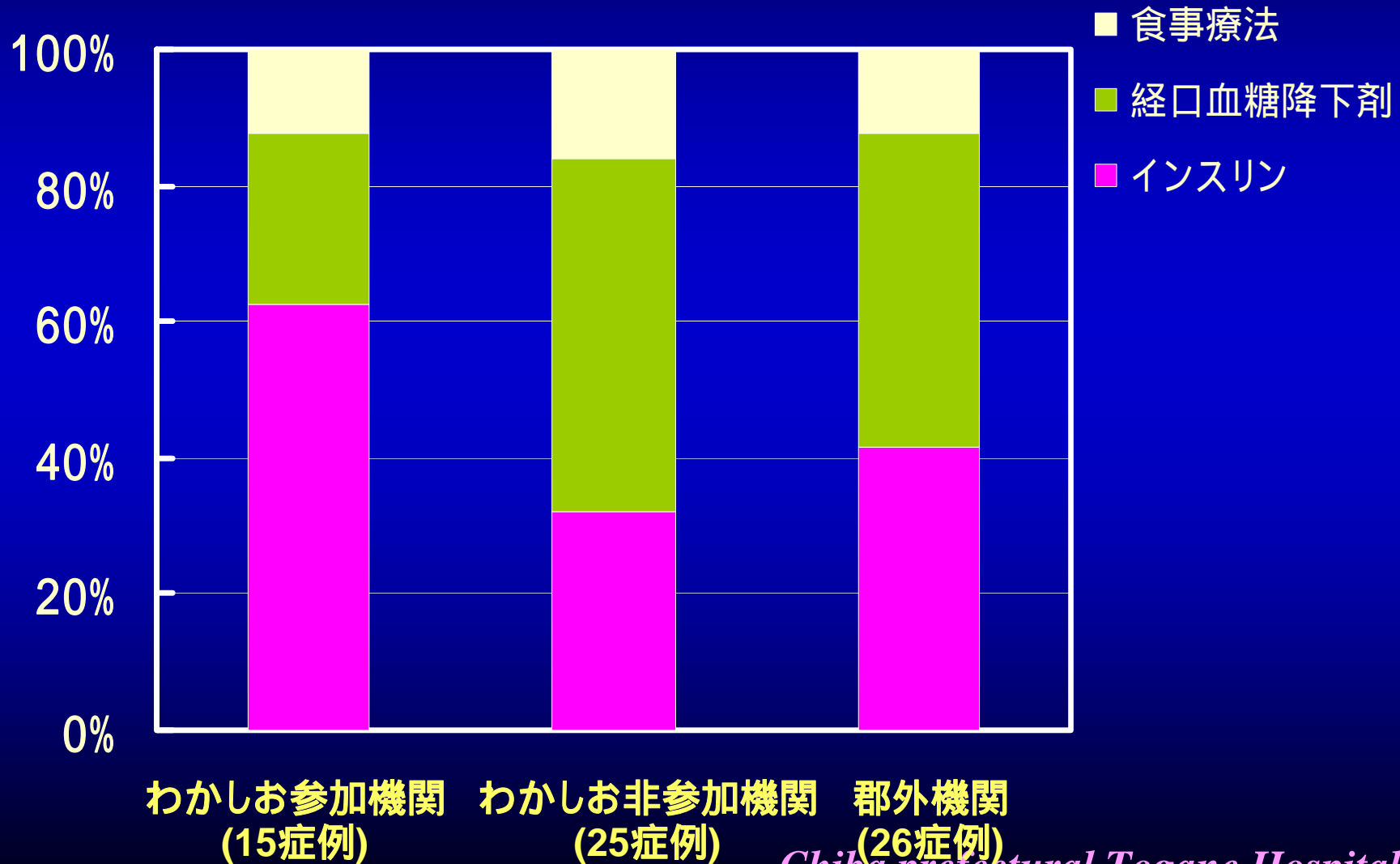
当院紹介受診時の血糖コントロール状態の分布(紹介元別)



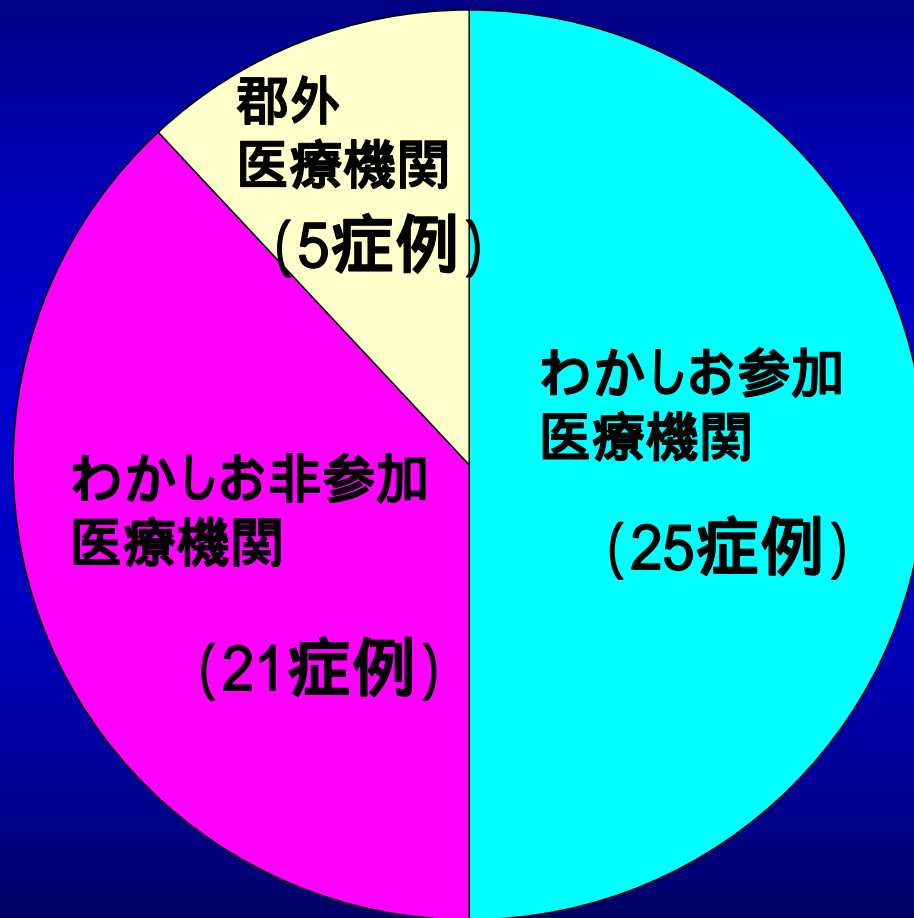
当院紹介受診時のHbA1cの分布(紹介元別)



当院受診後の治療内容の内訳(紹介元別)



東金病院における糖尿病医療連携の実際：逆紹介

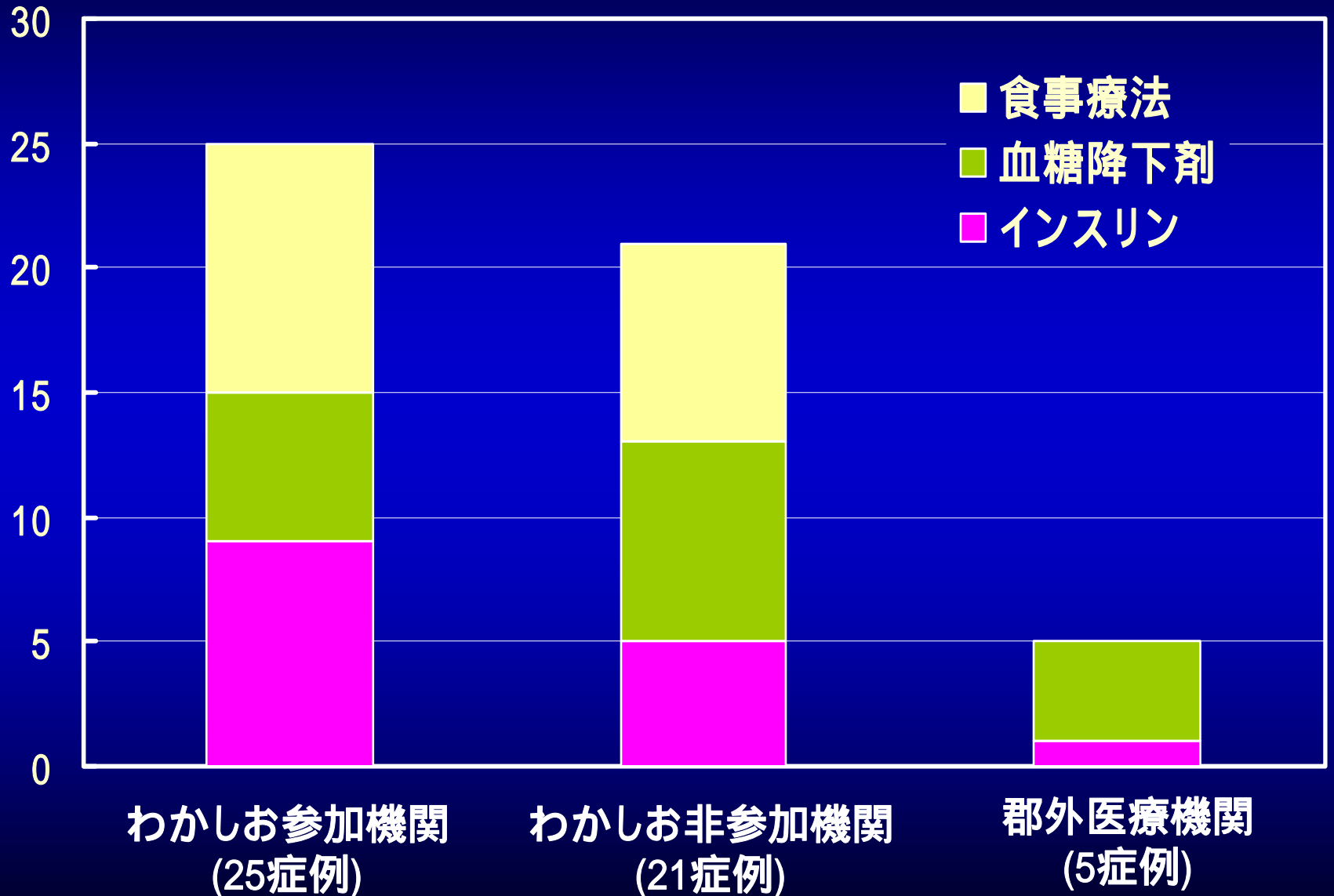


逆紹介症例数=51

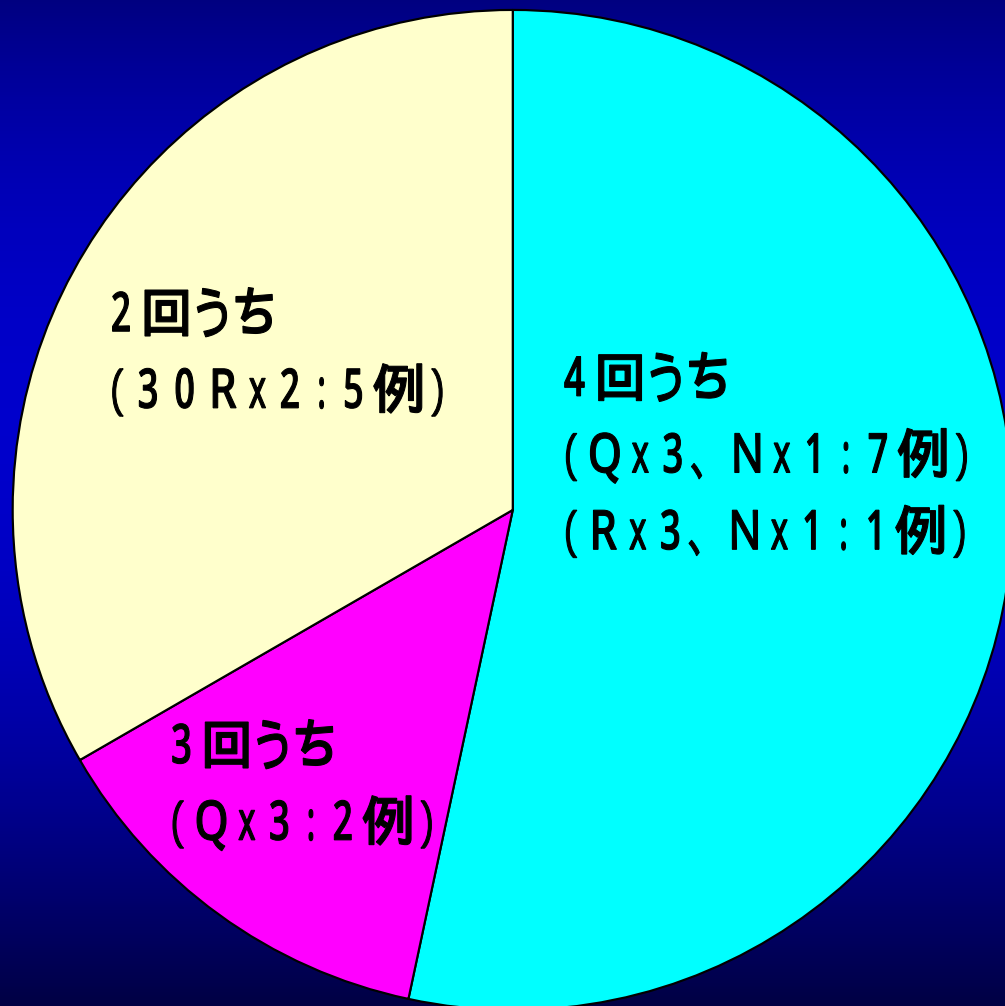
平成15年1月～6月

Chiba prefectural Togane Hospital

当院からの逆紹介時の治療方法の内訳(紹介先別)

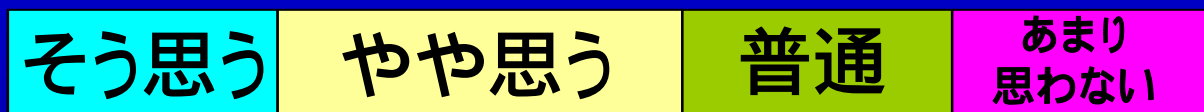


当院からの逆紹介時のインスリン治療の内訳



糖尿病治療に関する診療所医師アンケート回収結果

インスリン自己注射の量をスムーズに決定できたと思いますか。



わかしお医療ネットワーク参加機関に限定

診療所連携の糖尿病患者の意識調査(17人)

	ケース数	平均	信頼限界 -85.000%	信頼限界 +85.000%		中央 値	下側四 分位点	上側四 分位点	標準 偏差
連携治療 満足度	13	0.384615	0.013635	0.755596	満足度 高い	0	0	1	0.869718
診療所治療 不安感	14	-0.71429	-1.12092	-0.30765	不安少 ない	-1	-1	-0	0.99449
連携効果	12	1	0.670059	1.329941	効果 あり	1	0.5	1.5	0.738549
連携 満足度	12	0.583333	0.063102	1.103564	満足度 高い	0	0	2	1.1645
オンライン 共有 不安感	10	0.5	-0.2135	1.213504		1	-1	2	1.433721
インスリン 自己注射不 安解消度	5	1	0.204768	1.795232	不安解 消 あり	1	0	2	1

+2, +1, 0, -1, -2 の5段階評価

糖尿病診療の平準化における 電子カルテネットワークの成果

電子カルテネットワークの導入は、
オフラインの研修会との併用により、
地域における糖尿病診療の平準化
(診療所へのインスリン治療の拡大：
技術移転)において一定の成果を
上げた。

医療連携で地域の糖尿病診療の底上げを

成東病院



インスリン注射患者: 150人

東金病院



インスリン注射患者: 450人

20の診療所で400人の
インスリン注射患者さんを診る



20人



20人



20人



20人



20人



20人

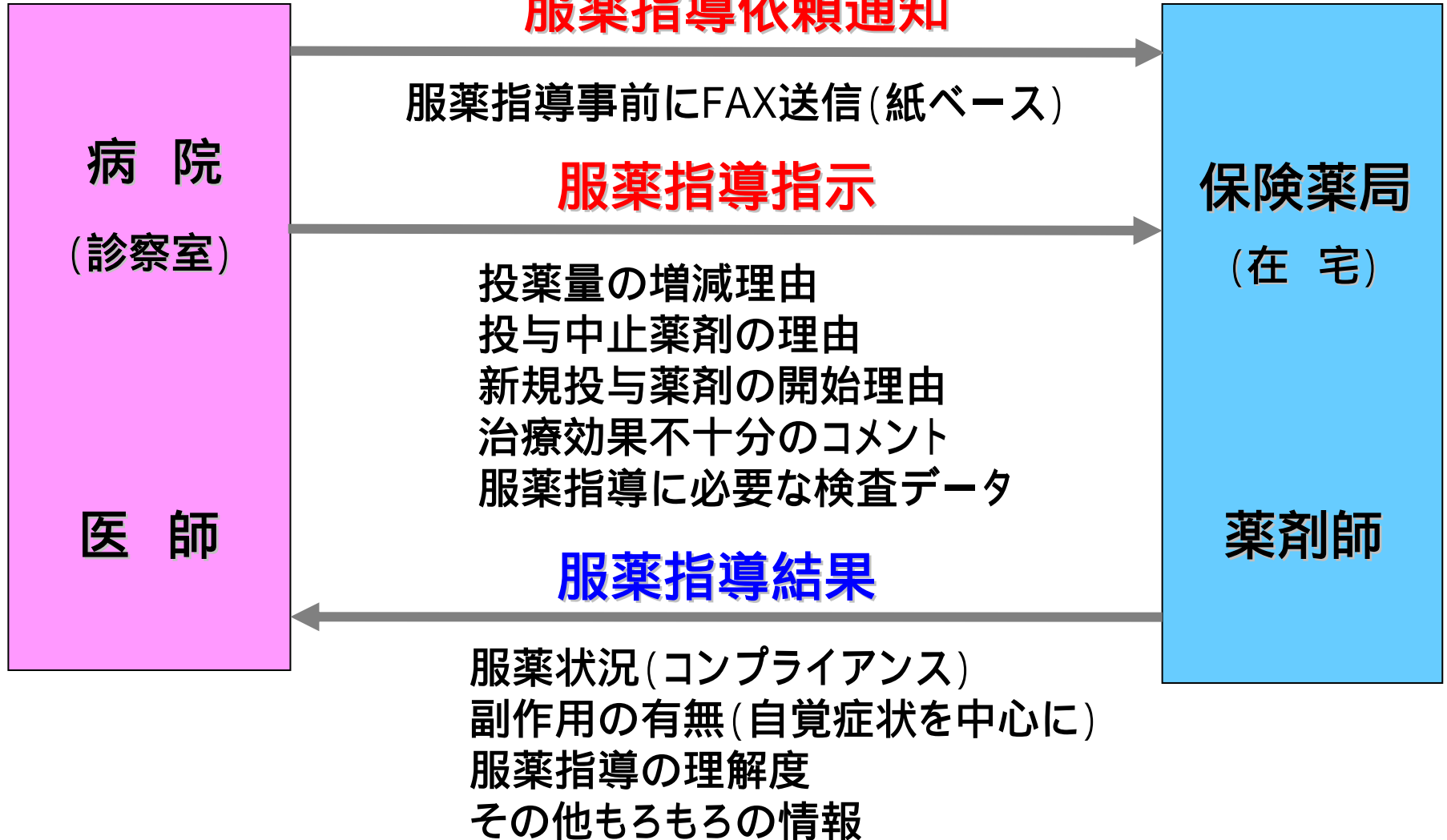
Chiba prefectural Togane Hospital

電子カルテネットワークの成果(2)

医薬分業から新たな病・診・薬連携の創造へ

病・診・薬連携システム(服薬指導)

オンライン服薬指導システムによる双方向の情報交換



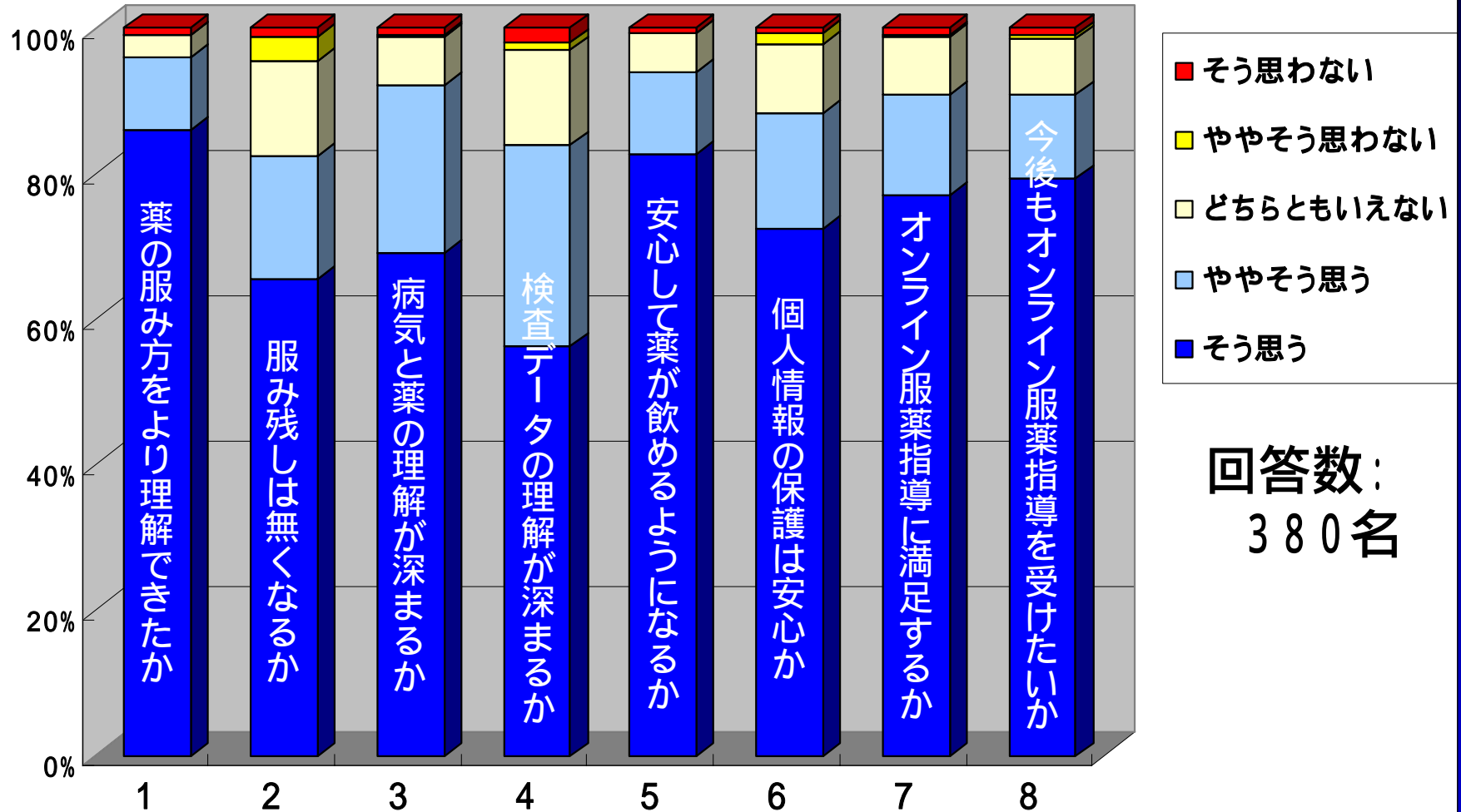
オンライン服薬指導の実際



平成16年 NHK ETV 放映画像より

Chiba prefectural Togane Hospital

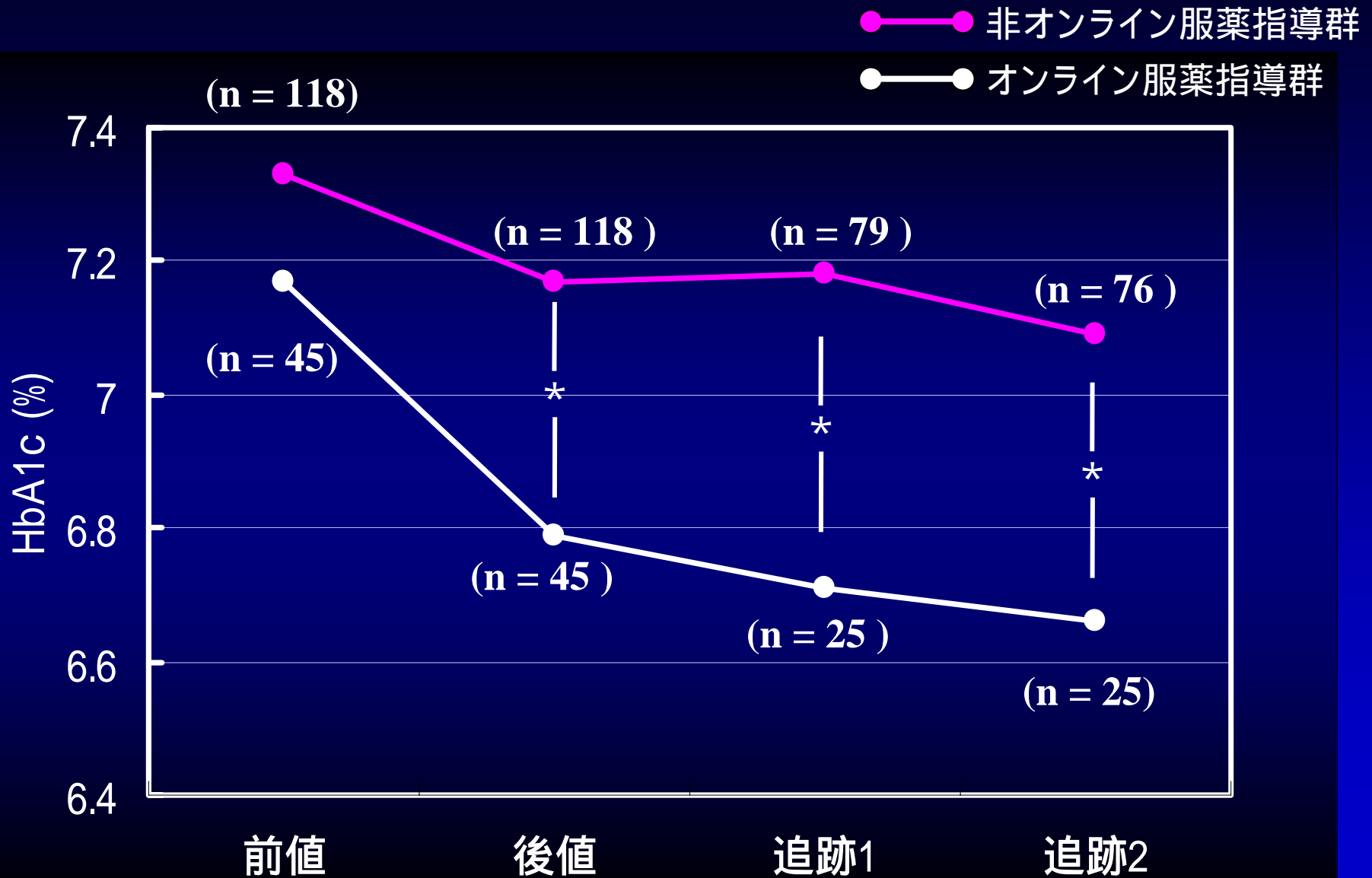
患者アンケート回収結果



回答数:
380名

設問番号

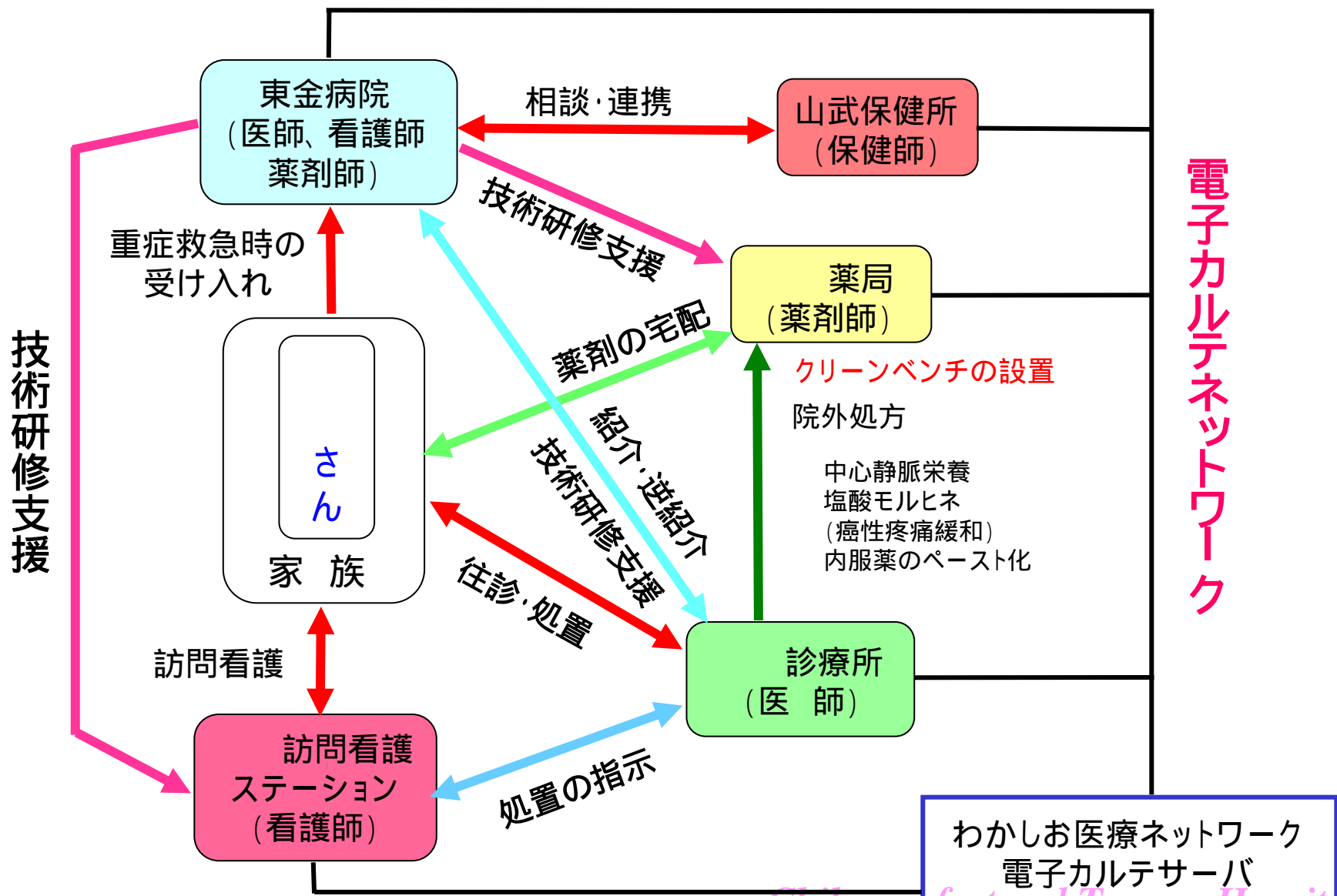
両群におけるHbA1cの変動



電子カルテネットワークの成果(3)

モバイル端末の活用による在宅医療の向上

わかしお医療ネットワークによる在宅ホスピス支援システム - 在宅中心静脈栄養療法を中心に -



在宅医療と電子カルテネットワーク



平成16年 NHK ETV 放映画像より

Chiba prefectural Togane Hospital

電子カルテネットワークの成果

1. 中核病院と地域の診療所との役割分担の明確化と連携の充実・強化
2. 病院・診療所・保険薬局の連携を基盤にした生活習慣病の地域医療の向上
3. 在宅介護者の安心感と在宅医療の向上
4. 緊密なヒューマンネットワークの構築が不可欠

わかしお医療ネットワークの評価(2)



平成16年 NHK ETV 放映画像より

Chiba prefectural Togane Hospital

電子カルテネットワークの普及 には何が必要か？

エビデンス：導入効果と有用性の検証

技術基盤：セキュリティ、操作性

人的基盤：ヒューマンネットワーク

医療制度：診療報酬改訂
(ネットワーク加算？)

ま と め

はじめに、ヒューマンネットワーク
ありき！！

次に、ヒューマンネットワークと
コンピュータネットワーク
の融合の時代へ